スタートライン

令和3年度学校目標

新しい自分に会いに行こう！　～心を磨き、自ら考え行動できる自分へ～

八戸市立白銀中学校
TEL　３３－３２８７
FAX　３２－１１３１
学校通信　第２７号
文責：高橋　健
令和４年３月２４日

春三月　希望に満ちた次なるステージへ

白銀中卒業生一七、五六五名に！

令和3年度第75回卒業証書授与式が3月12日10時より本校体育館で行われました。卒業生は、やわらかい春の日差しの中、保護者や在校生に見送られ、一人一人、決意も新たにそれぞれの道を力強く歩みだしました。

卒業式式辞（抄）　校長　高橋　健

コロナ下での学校生活も二年目となった義務教育最後の一年は、不自由なことも多い日々の中で、試行錯誤しながら前向きに取り組もうとする姿が随所に見られました。▼八戸市公会堂での合唱コンクール、制限された音楽の授業、学級での練習時間を大幅に短縮した中での開催でした。マスク姿でステージに立つ君たち、担任の先生が祈るように手を握っています。出だしから心に響くハーモニーに圧倒されました。心が震え、身体が熱くなるのを感じ、君たちの熱い思いに涙があふれ出そうになりました。時間がないとか、「コロナだから」と言い訳を探すのではなく、今できる精一杯をこの仲間と創り出そうとする君たちの情熱。心に響くハーモニーの正体は仲間や担任との深い絆だと証明してくれました。熱いハートで全力で楽しもう」をテーマに実施した修学旅行。宿泊先のリゾートホテルでのカメムシの大群にも負けずに全力で楽しんだ晩秋の津軽路は友情を再確認した二泊三日でした。また、東北大会第三位となった新体操部をはじめとする各部の大会、コンクールでの活躍、英語弁論大会での上位入賞など文武に渡る活躍も立派でした。市中体夏季大会最終日の選手、応援生一つになった絆あふれる全校応援も忘れることができません。コロナ下でも決してあきらめずに仲間と共に、困難に立ち向い伝統を紡いだ皆さんの絆と熱い心こそ、白銀中学校の誇りです。ここにいる後輩たちが必ず受け継いでくれるはずです。▼いよいよ旅立ちの時です。皆さんがこれから歩む道、向かおうとする社会は決して優しいだけではありません。時には挫折や落胆を味わうこともあるはずです。しかし、失敗を恐れて挑戦しなければ成長はありません。皆さんは、自分の人生のリーダーです。様々な場面で、挑戦するかしないか、ＹＥＳかＮＯか」の意思決定を迫られその積み重ねがあなたを創り上げ、人生を彩っていきます。▼意思決定は　判断と決断」によってなされます。判断とは、過去の経験や歴史から比較検討すること、つまり今までの学びを基に行われる意思決定です。決断とは、情報やデータが不足している場合であっても行われる意思決定です。リーダーは決断であっても未来に対して責任を負わなければなりません。人生は意思決定の連続です。適切な判断ができるように学び続けるのです。そして、果敢な決断ができるように挑戦し続けるのです。▼人生に　サヨナラ」はつきものですが、青春の思い出は、いつまでも心から離れることなく、皆さんを力強く励まし、勇気づけてくれるでしょう。春の日差しに照らされた、あなたの夢が輝いています。新しい自分に出会うためのスタートラインに立つ皆さんの前途に幸多からんことをお祈りし式辞といたします。

令和四年三月十二日

思い出いっぱいの母校を巣立つ卒業生72名　今後の活躍を心から祈ります

答辞（抄） 卒業生代表 ○○ ○○

三年前、真新しい制服に身を包んだ私たちは新しい仲間と環境に、期待と不安を抱きながら入学しました。その日から今日までの三年間、本当にいろいろなことがありました。一年生。部活動で必死に先輩の後を追いかけていました。二年生。後輩ができ、気持ちが引き締まりました。三年生。最上級生という自覚と責任をもち、一日、一日と成長していきました。「絆～心磨向上１ＵＰ～」今年度はこの生徒会スローガンの下、たくさんのことを学びました。一人一人が１ＵＰできるよう、互いに助け合い、支え合いながら、たくさんの壁を乗り越えてきました。体育祭。思うように進まず、苦労しましたが応援リーダーを中心に頑張りました。文化祭。意見を出し合い、一人一人が主役のステージを創り上げました。様々な行事の中で、私の一番の思い出は合唱コンクールです。コロナウィルスの影響で練習の制限。マスクをしたままの合唱。時には意見がかみ合わず、ぶつかり合い、思うように進まなかった練習それでも「最優秀賞を獲る」という大きな目標に向け、努力してきました。そして、本番の日。緊張と不安でいっぱいでした。その不安を拭い去ったのは、クラスの円陣。一人一人の思いがクラスの思いがつながった瞬間でした。一組の「コスモス」二組の「正解」。会場いっぱいに声を響かせ歌い上げたことは忘れられない思い出です。こんな貴重な経験ができたのは、多くの皆さんの支えがあったからこそです。まずは、在校生の皆さん。皆さんと力を合わせた行事の思い出はかけがえのない思い出です。次に、暑い日も寒い日も「挨拶運動」をしてくださった地域の皆さん。ありがとうございました。そして、三年間共に過ごしたクラスのみんな。学年のみんな本当にありがとう。さらに、懸命にサポートしてくださった先生方。藤田先生。技術の中でこれから必要なことを教えてくださいました。細山先生。楽しくわかりやすい授業。大事な進路への丁寧な対応をしてくださいました。中居先生。生徒会でもたくさんお世話になりました。相澤先生。絆を深めた合唱コンクールの架け橋となってくださいました。巴先生。誰よりも熱いハートで接してくれました。最後に、いつも一番近くで見守ってくれた両親。普段は照れくさくて言えませんが、言葉にできないほど感謝しています。私たち卒業生は、多くの人に支えられ導かれ今日の日を迎えています。多くの感謝を胸に答辞といたします。

送辞（抄） 在校生代表 ○○ ○

二年前、私たちの学校生活は自粛期間と共に始まりました。新しい環境や突然の自粛に対して不安ばかりだった私たちを、先輩方は優しく迎えてくださいました。コロナ禍で中止になる行事や規模を縮小して行う行事が多くあり、悔しい思いをする日々が続きました。しかし先輩方は、いつも全力を尽くし、規模縮小ということを感じさせないものを創り上げていました。二日間にわたって行い、勝利を譲らず正々堂々とぶつかり合った体育祭。応援合戦では多くの人数をまとめあげるリーダーシップを、団体競技では三年生の皆さんの強い団結力を見せていただきました。八戸市公会堂で行った合唱コンクール。マスクをつけながらも力強くホールに響き渡る先輩方の歌声に私たち一・二年生は圧倒されました。ひとつひとつの言葉に心が込められた歌声は私たちの心に深く響きました。そして、文化祭。学年が一つとなったステージで、音楽が与える希望、三学年の絆を私たちに伝えてくださいました。会場にいた全員が最高に楽しい時間を過ごすことができたのは先輩方の努力の証です。先輩方が卒業したら、私たち二年生が学校をリードしていかなければなりません。まだまだ最高学年として胸を張ることはできない私たちですが、先輩方が私たちを引っ張って下さったように、私たちなりに精一杯学校を引っ張っていきます。何事にも全力で挑み、楽しみ、輝いていた先輩方のように誇りをもち、白銀中学校の伝統、歴史を受け継いでいきます。先輩方と過ごした大切な時間がもうすぐ終わろうとしています。皆様の輝かしいご活躍を心から願い、より一層のご健康をお祈りするとともに、感謝と尊敬の思いを込めて送辞といたします。

寄贈御礼

３月８日、白銀振興会と白銀地区自主防災会から本校へ、除菌スプレー30 本と除菌スプレー詰め替え用２ﾘｯﾄﾙ入り６袋が寄贈されました。校長室で行われた寄贈式には白銀振興会の○○○○会長、○○○副会長、白銀地区自主防災会の○○○○会長が出席。○○会長より感染症対策に役立ててほしいと校長に目録が手渡されました。寄贈という心温まる応援に感謝します。ありがとうございました。

大変お世話になりました。 白銀中の歴史と伝統を築いてきた先生方、ありがとうございました。

３月２３日（水）午前１１時。県教育委員会から人事異動発表がありました。本校からは７名の職員がご退職・ご転出となりました。離任式は３月 25 日に行います。お世話になりました。ありがとうございました。

【異動される先生方】

◇○○ ○○ 先生　田子中学校校長へ、本校６年、国語、（ﾊﾞﾚｰﾎﾞｰﾙ部）

◇○○ ○○ 先生　ご退職、本校４年、技術、５組担任、陸上競技部

◇○○○○○先生　市川中学校へ、４組担任、英語、本校３年、吹奏楽部

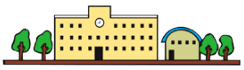
◇○○ ○○ 先生　下長中学校へ、本校６年、３年１組担任、理科、ﾊﾞﾚｰﾎﾞｰﾙ部、

◇○○ ○○ 先生　青森市浪打中新採用へ　本校１年数学、２年副担任、ｿﾌﾄﾃﾆｽ部

◇○○ ○○ 先生　八戸市立学校に勤務予定特別支援教育ｱｼｽﾀﾝﾄ、本校１年

◇○○ ○○ さん　ご退職、技能主事、本校勤務２年

4月 行事予定

＊感染症等の状況により日程を変更する場合があります。ご了承ください。

４月　１日（金）春季休業 ～4/6
　　６日（水）新任式
　　７日（木）始業式・入学式
　　８日（金）新入生歓迎会・知能検査
　１１日（月）身体測定、聴力検査、集団行動訓練
　１２日（火）ＮＲＴ検査、委員会組織会
　１３日（水）全校朝会（任命式）、委員会組織会
　　部紹介
　１４日（木）校務会議
　１７日（日）保護者参観日①、ＰＴＡ組織会
　１８日（月）振替休
　１９日（火）全国学力学習状況調査、部結成
　２０日（水）職員会議
　２１日（木）学年会議
　２７日（水）生徒委員会
　２９日（金）昭和の日